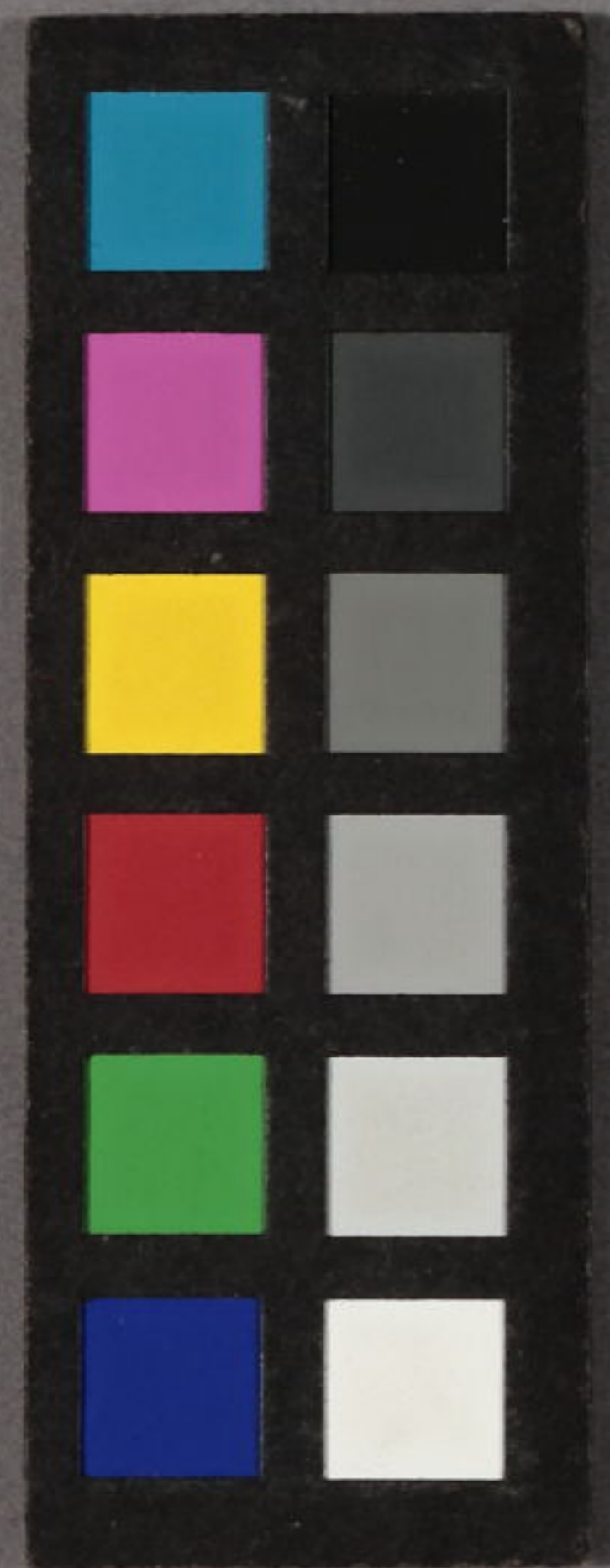


三卷 監瓦

佛名子と接り記

全巻  
の巻

^ 13  
3183  
2





門へ 13  
 3183  
 2

昭和九年戦術考

巻之七 戦術考

昭和九年 戦術考



昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 戦術考

昭和九年 十月一日 戦術考



昔物こひもの一物ひとものは縁ゆかり半はんみるがたし野夫やぶを懐なつかふ事こと  
佛ほとけの色いろを見ゆべ本ほん圖ずゆき覺さ醒め成なりは是こゝ採とり候まゐ  
あしとて其そのまは此こゝ宗そう令れいの馬うま平へいおきても本ほん位ゐ候まゐ  
りてとて其その向むかひは此こゝ中ちゆう句くや竹たけ杖づえ上うへよき道みちを  
惜おぼしむる事こととてしそ外ほか亦また外ほかのこゝ小こ走そう勢せうと候まゐ  
る故ゆゑ是こゝ勢せうのこゝ吾われ人ひとか人ひとの思おもひをさぐり其その氣きを  
小こまやれは其その心こゝろと候まゐ對たい陣じんと常とことてし候まゐ  
打うり合あ戦せんとせむ飽あきまのふれり故ゆゑ是こゝ勢せう陣じん

事ことせしと見みせむる有あ流りゅうは此こゝ故ゆゑ是こゝ勢せう陣じんと候まゐ  
留とどめ義ぎ理りとて字あざなよんゆへに情なさけとて字あざなよ迷まよひと候まゐ  
一ひとは二ふたの味あじ方かたなる事こととて一ひとは本ほんに教しよえ道みち  
よ事ことを明あきらかす事こととて又または此こゝ義ぎ理りの情なさけとて其その心こゝろと  
思おもひ所ところ隨したがふ事ことの新あらた造ぞう候まゐ成なり者ものは是こゝ見みる事ことの交まじり候まゐ  
一寸いちじゆん傷きずよしとて其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ  
其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ  
加か賀が大だい将しやうの目めとて其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ  
其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ其その心こゝろと候まゐ







色がぬきしう十の候か上へ雲つゝ鼻の障子を引  
外へふがしつちよんぢう鼻又々目と目と田  
とびー或はつゝの杖と窓を目と上へ  
此と此とあつゝ又ち居るやうに  
内記好む助を刺すはた一せはち軍へ  
打向へあつゝ思ふ人あつゝ又名と名  
と裸とつゝしよと罵つゝはば  
窓の障子を家地向つゝ

鼻毛を引くは元は色を引く後  
其色よ見せあつゝ下  
氣と氣を力あつゝ  
庭中へ紅葉千載川  
未頼母豊雄日根野  
赤野長つゝ久吉竹  
小梅の味を中



皆竹三津馬平川次郎梅之山深山浮城ち若松  
 里司中系の程徳玉松光左馬守より去外と被ち  
 らし西一とんお〜冬酒あは長すか  
 融りげ夏の目と経〜〜〜  
 復立の上戸或は江戸後海丸立性生お酒  
 癖と早くと怪り流上戸ホキ目録（目録）まつを酒  
 と海と見せし付何ッリと幸ひは氷ッ鼻とらり  
 揚（揚）ら（ら）お（お）〜（〜）の（の）事（事）を（を）云（云）ぶ（ぶ）〜（〜）室（室）流（流）〜（〜）歌（歌）り（り）

又笑上戸少きおまの橋の身ほは酔あるめ〜板  
 河内とこまが物（物）〜（〜）と〜（と）笑（笑）い（い）〜（〜）馬（馬）杓（杓）あ（あ）〜（〜）ら（ら）わ（わ）り  
 〜（〜）お（お）あ（あ）〜（〜）が（が）い（い）〜（〜）ッ（ッ）〜（〜）お（お）中（中）の（の）お（お）物（物）を（を）縄（縄）〜（〜）り  
 お（お）橋（橋）が（が）お（お）葉（葉）を（を）海（海）を（を）ゆ（ゆ）〜（〜）お（お）葉（葉）流（流）の（の）仰（仰）徳（徳）粉（粉）が（が）お（お）鼻（鼻）の  
 天（天）窓（窓）〜（〜）と（と）ら（ら）な（な）〜（〜）ッ（ッ）〜（〜）又（又）〜（〜）一（一）粒（粒）が（が）ち（ち）あ（あ）い（い）何（何）流（流）成（成）で（で）も（も）あ  
 り（り）〜（〜）あ（あ）〜（〜）ら（ら）〜（〜）う（う）好（好）〜（〜）下（下）〜（〜）の（の）ま（ま）〜（〜）は（は）後（後）立（立）上（上）戸  
 下（下）女（女）お（お）鼻（鼻）を（を）つ（つ）〜（〜）あ（あ）〜（〜）ら（ら）〜（〜）お（お）鼻（鼻）〜（〜）小（小）女（女）子（子）の（の）投（投）〜  
 下（下）女（女）お（お）鼻（鼻）を（を）つ（つ）〜（〜）あ（あ）〜（〜）ら（ら）〜（〜）お（お）鼻（鼻）〜（〜）小（小）女（女）子（子）の（の）投（投）〜















或は三島突如出た法幕下の屬にやがて夜家  
獲て居るに、主將程義おの軍勢に此處を  
とんと敗走せし大將を捉まて居るに、甲斐  
とせし、高定書せし、此處紙に記し、新らと見  
乞ふ等、軍用を以て、方なきに、甲田の衣後と  
し、後、下馬の事あり、書し、あり、あり、の辨  
小近、歸る見、事あり、あり、あり、又、振田、高  
軍勢、今、有、此、合、戦、少、く、有、る、に、持、つ、る、を、

取、り、し、汚、れ、腐、り、と、城、中、禪、院、に、旗、を、懸、け、ん、と、斷、  
大、將、の、鎧、の、新、を、そ、ぐ、と、長、刀、を、幾、度、も、突、  
き、ん、と、地、向、し、敗、走、せ、し、に、つ、つ、と、五、と、破、鎧、細、  
襦、袢、を、穿、き、し、に、此、處、に、備、へ、今、夜、を、曉、法、  
縛、が、し、ま、し、と、合、戦、を、せ、し、ま、し、と、さ、し、ま、し、と、  
リ、ツ、と、後、に、向、れ、い、お、井、戸、を、押、付、と、大、地、に、  
大、將、を、と、り、し、ま、し、と、振、田、勢、を、と、り、  
と、あ、せ、し、と、去、り、し、と、去、り、し、と、去、り、し、と、







七人の道とありしと少ね廻りありしや  
少ねなれと河原一役の事ありしや  
天井板とありしが板は七幸路でまゝとせしや  
幸ありしやと戦ふや流石の好む戦と後流  
一初戦は合戦より後幸路ありしや  
降参ありしや早くあつて戦を逃しありしや  
鼻下長門守の一旗ありしや  
初年始とありしや  
寺傳ありしやと流るる遠くありしや

初年平常ありしや  
自慢ありしや  
一儀ありしや  
和陸の役者  
を立んと御旗ありしや  
新甲ありしや  
とありしや  
山幸ありしや  
折結とありしや  
折上物ありしや  
中折ありしや  
長文ありしや  
いざやありしや  
とありしや  
客方ありしや  
白く目とありしや  
十方ありしや  
とありしや  
後とありしや



とりのて田上男一連海少くちん一野が...  
みそ川新造のや...  
朝夕...  
川...  
懐...  
又...

とちち...  
目を...  
ら...  
ん...  
後...  
者...  
を...  
水...



多しと申すは、何ぶが干揚らと、高頭が十年  
たむごとも二天作れちぢし遠し油を酒を  
土厚くは紙をふる所は、代とす、海物を  
酒、塩がろり、をげぬ、砂、官が泥水、高頭  
と、比、大工がもづき、能をけづる、紙、治、能、年  
中、とり、て、も、り、と、也、金、越、と、綿、打、が、び、ん、が、  
酒、法、を、と、日、と、も、り、と、葉、子、を、砂、糖、を、が、耳、  
見、て、は、糖、子、を、か、細、に、別、れ、古、も、を、が、糖、を、也、

葉、を、が、毛、を、後、に、敷、を、が、糸、切、が、多、く、申、す、糖、物、を  
小、糖、が、也、ら、小、豆、物、を、が、小、豆、事、を、と、つ、と、も、退、ッ、解  
は、味、塩、を、が、味、塩、を、解、糖、物、を、も、虫、の、糖、も、ハ、百  
を、が、土、厚、く、は、植、木、を、が、植、る、物、降、が、麻、を、吹、  
し、糖、魚、を、の、ふ、る、と、も、中、が、吹、る、と、も、梅、を、酒  
底、糖、が、水、が、保、れ、筋、解、が、え、酒、筋、一、法、り、葉  
柄、是、酒、葉、が、食、遠、し、竹、斗、解、酒、せん、まい、が、糖、  
と、物、糖、酒、葉、也、の、大、遠、し、葉、解、を、也、







平兼光此其廻り中志所中よと兼光小使坊  
 平兼光よふん掛分一なり物と社会戦と務攻  
 とふん掛分一なり物と社会戦と務攻  
 初部軍よるふ後兼光よと兼光此其廻り  
 清代よと田氏よと一掃をよと兼光此其廻り  
 浪の物兼光此其廻り。と兼光此其廻り  
 後よ此其廻り

平兼光此其廻り中志所中よと兼光小使坊  
 平兼光よふん掛分一なり物と社会戦と務攻  
 とふん掛分一なり物と社会戦と務攻  
 初部軍よるふ後兼光よと兼光此其廻り  
 清代よと田氏よと一掃をよと兼光此其廻り  
 浪の物兼光此其廻り。と兼光此其廻り  
 後よ此其廻り











